

2023年3月期第2四半期決算説明会

2022年11月25日



日本電設工業株式会社

I . 会社概要	2
II . 2023年3月期第2四半期決算概要	3
III . 部門別概況	10
IV . 2023年3月期業績予想	28
V . 日本電設3ヶ年経営計画2021	34
VI . 配当の推移	41

4本の柱で全国に事業展開

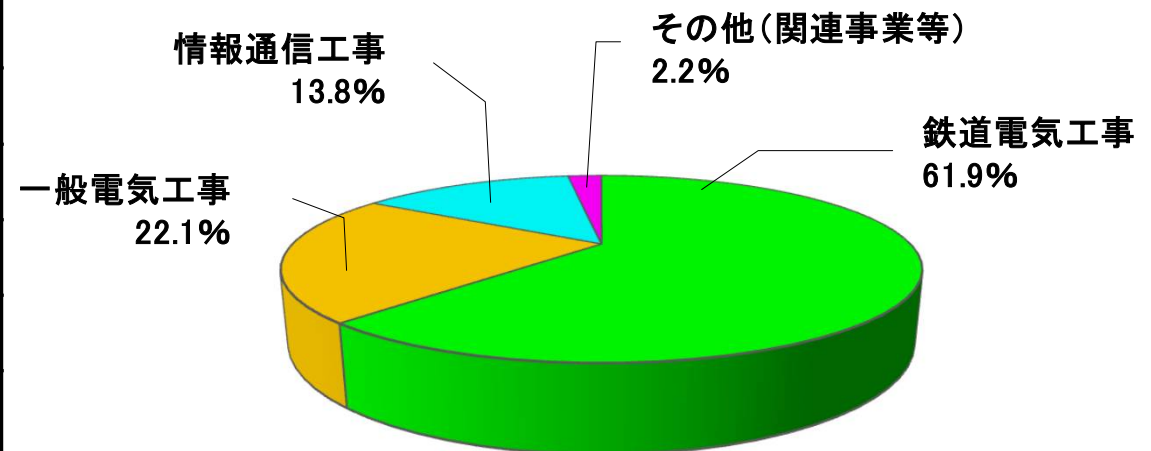
- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から80年
- JR東日本との強固な関係

部門別売上高構成額

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2023年3月期 第2四半期売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄道電気工事	37,659	28,779
一般電気工事	13,486	395
情報通信工事	8,425	3,815
その他(関連事業等)※	1,318	13
合計	60,889	33,004 (54.2%)

部門別売上高構成比率



※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

Ⅱ. 2023年3月期第2四半期決算概要



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

NDKグループ

■ 決算のポイント

- ・前期比減収ながらも、効率的な施工により赤字幅を縮小
- ・顧客の工事抑制の影響を受けるも、売上高・下期繰越高は高水準維持

(())は売上高比率、単位:百万円)

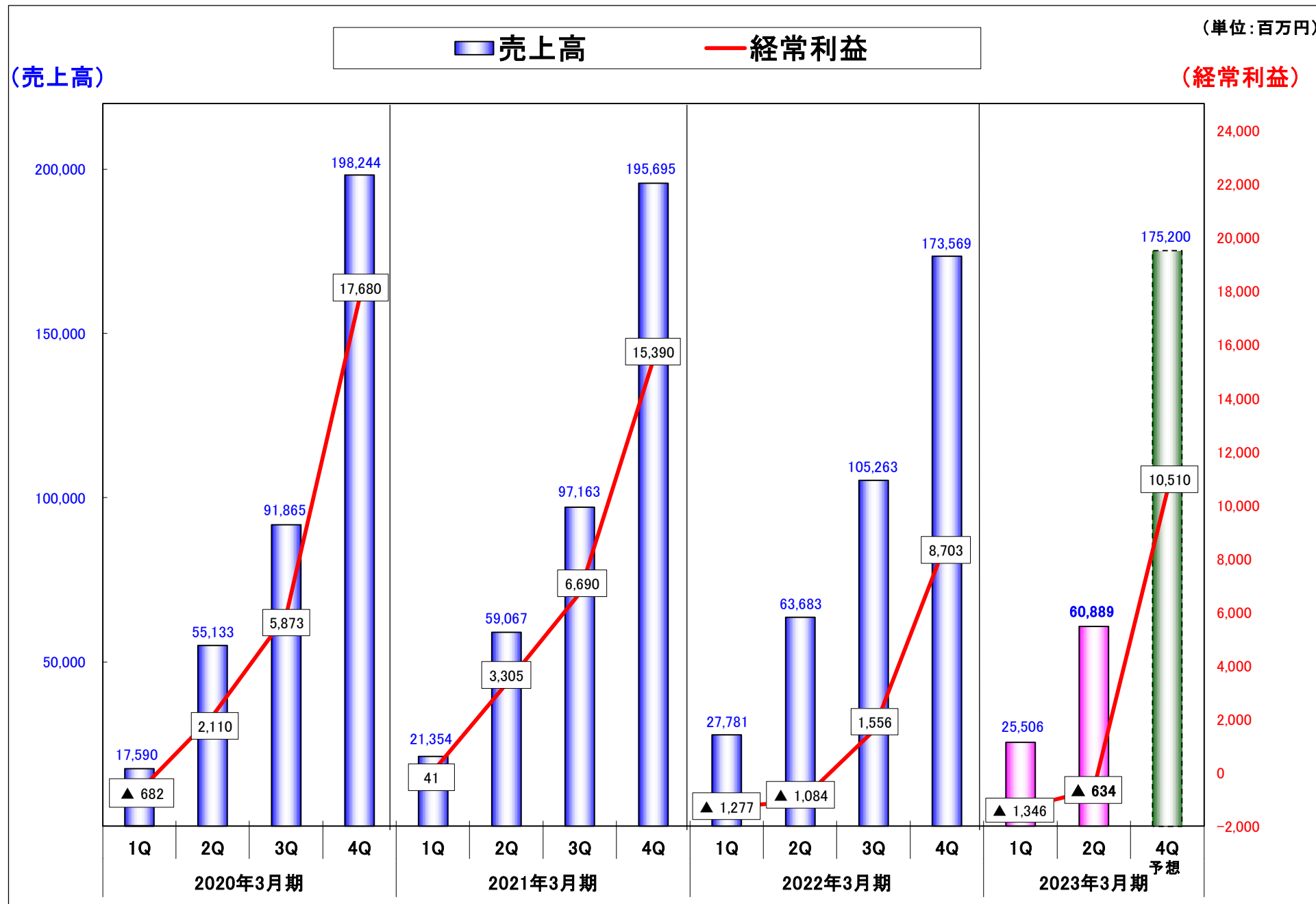
	2022年3月期第2四半期	2023年3月期第2四半期	前年同期比	
期首繰越高	144,252	144,574	322	0.2%
受注高	71,576	68,644	▲2,932	▲4.1%
売上高	63,683	60,889	▲2,793	▲4.4%
売上原価	58,772 (92.3%)	55,658 (91.4%)	▲3,114	▲5.3%
売上総利益	4,910 (7.7%)	5,230 (8.6%)	320	6.5%
販売費及び一般管理費	6,449 (10.1%)	6,451 (10.6%)	1	0.0%
営業利益又は営業損失	▲1,539 (▲2.4%)	▲1,220 (▲2.0%)	319	—
営業外損益	454 (0.7%)	586 (1.0%)	131	28.9%
経常利益又は経常損失	▲1,084 (▲1.7%)	▲634 (▲1.0%)	450	—
特別損益	▲37 (▲0.1%)	▲92 (▲0.2%)	▲54	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	▲1,077 (▲1.7%)	▲488 (▲0.8%)	589	—
下期繰越高	152,836	153,063	227	0.1%

季節的変動の大きい業績動向



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

NDKグループ



2023年3月期第2四半期実績



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

(単位:百万円)

受注高

対前期比
▲29億円

売上高

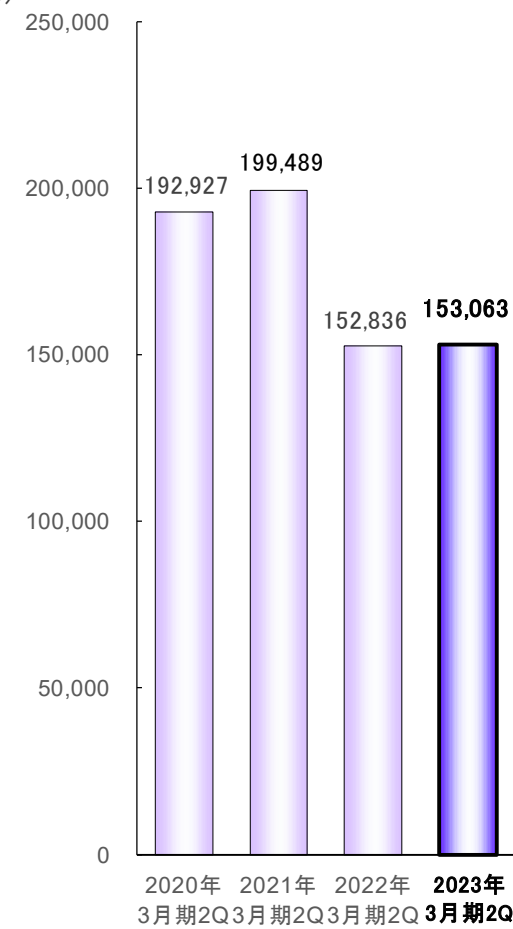
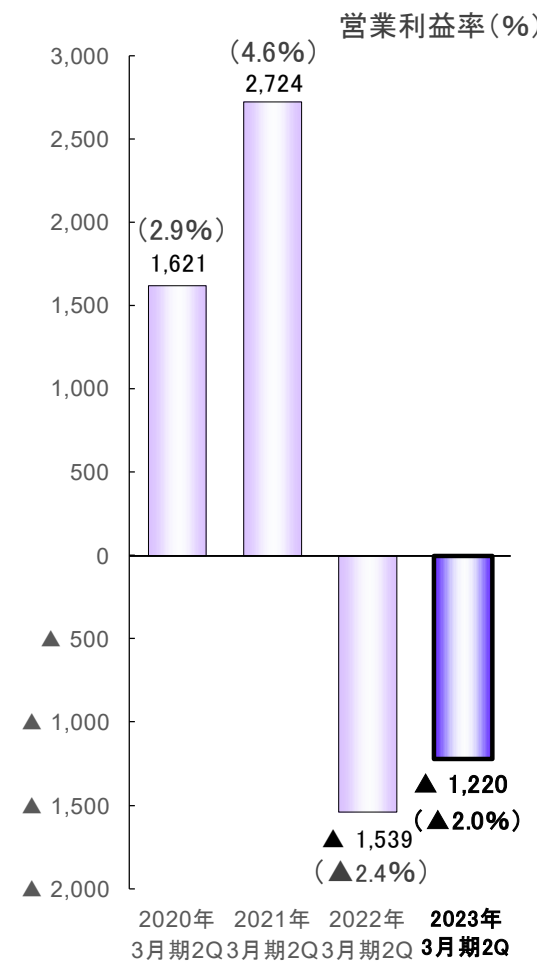
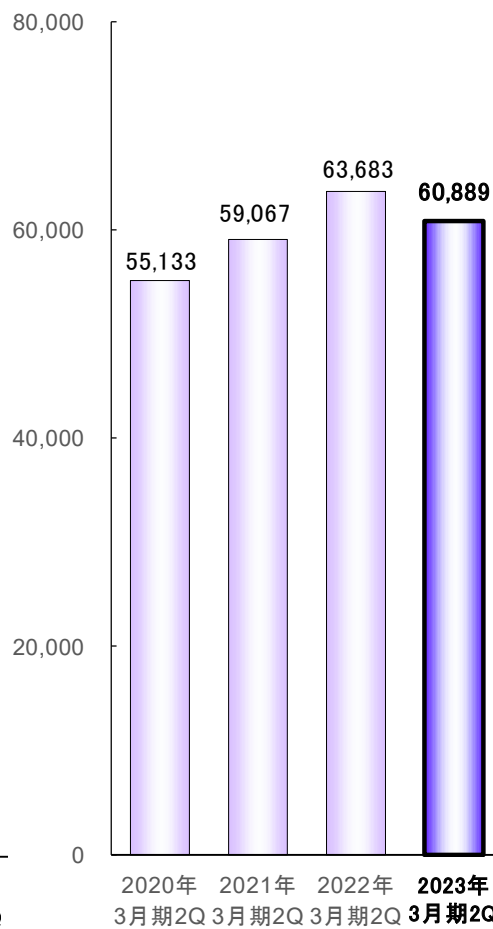
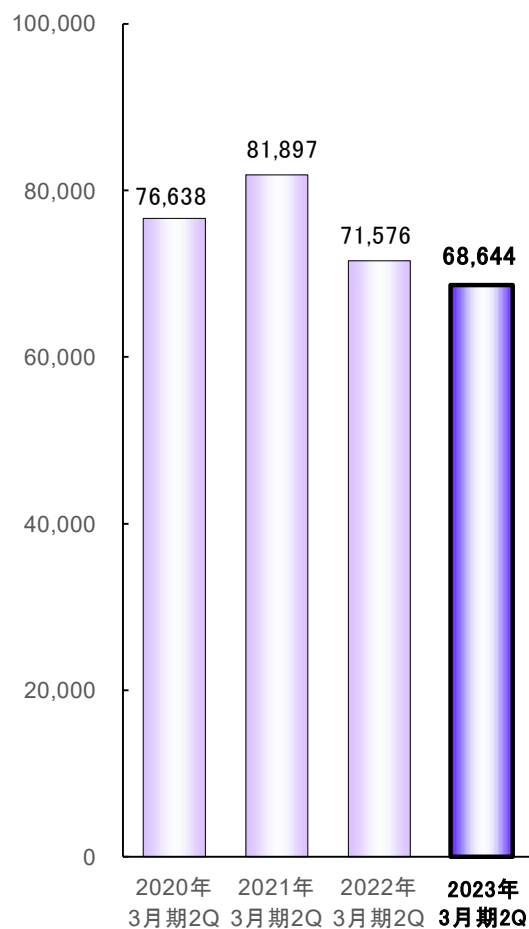
対前期比
▲28億円

営業利益

対前期比
+3億円

下期繰越高

対前期比
+2億円

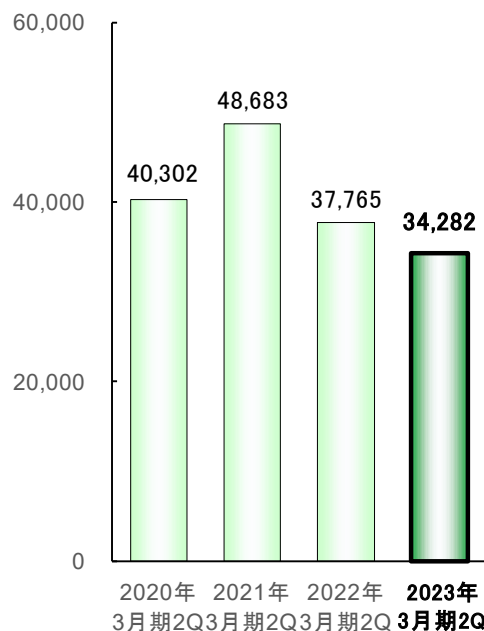


効率的な施工により赤字幅を縮小、顧客の工事抑制の影響を受けるも、
売上高・下期繰越高は高水準を維持

(単位:百万円)

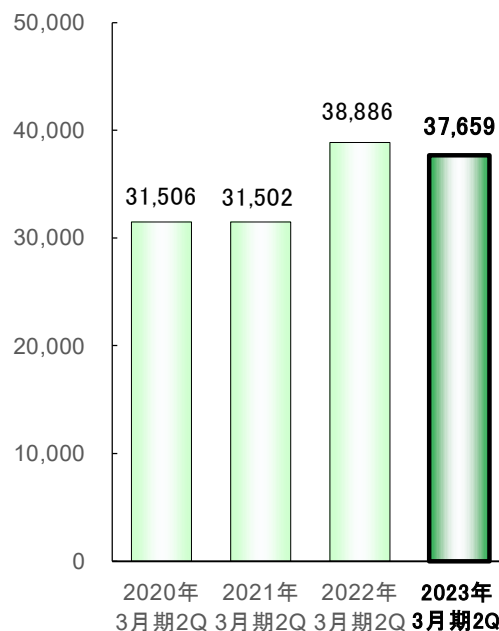
受注高

対前期比
▲35億円



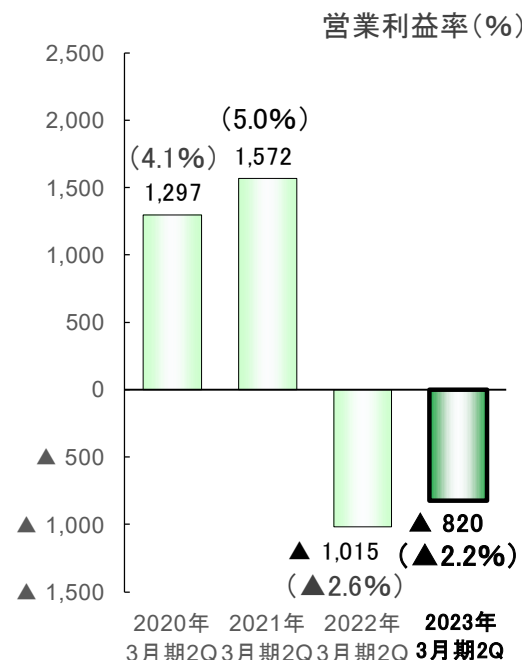
売上高

対前期比
▲12億円



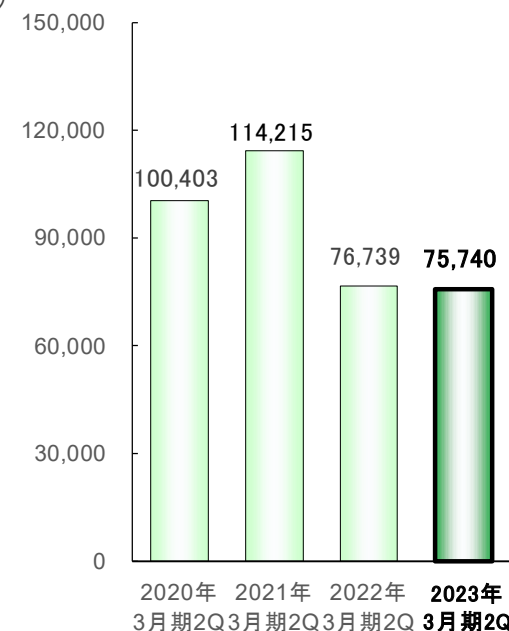
営業利益

対前期比
+2億円



下期繰越高

対前期比
▲10億円



■決算のポイント

- ・受注高は前期に公営鉄道の大型工事の受注が集中したことの反動等により減少
- ・売上高は北陸新幹線等の大型工事の進捗が寄与し高水準を維持
- ・営業利益は効率的な施工により前期比で改善
- ・下期繰越高は減少しているものの高水準を維持

(単位:百万円)

受注高

対前期比
▲4億円

売上高

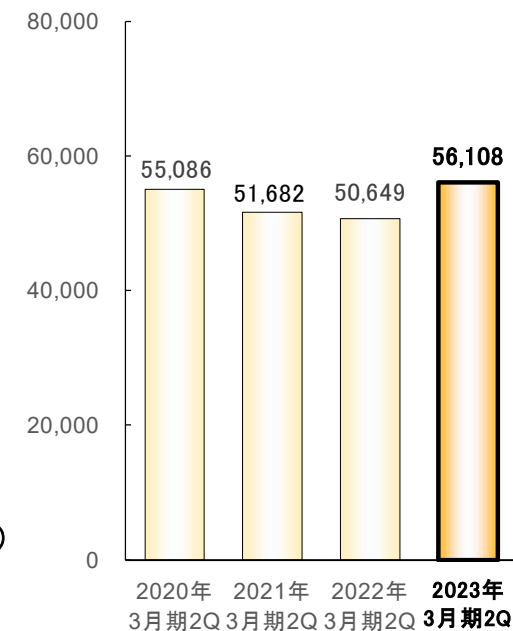
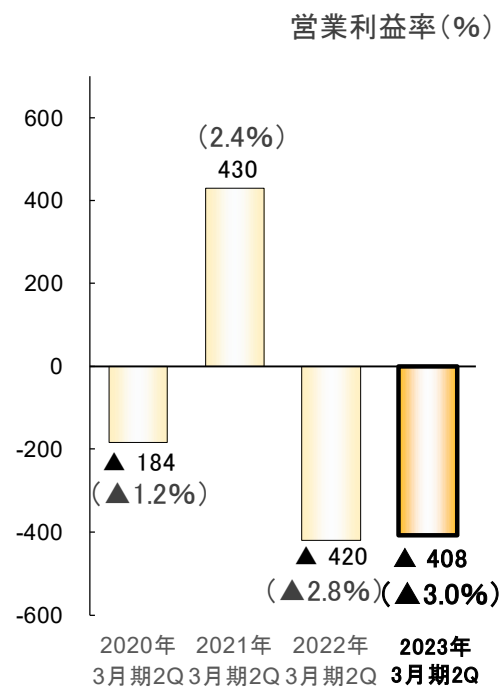
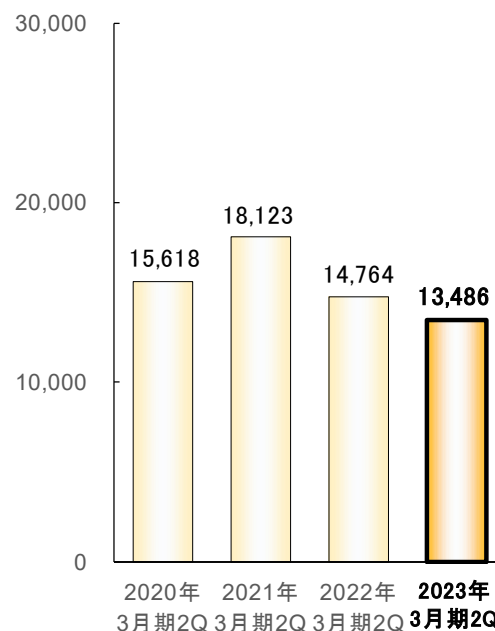
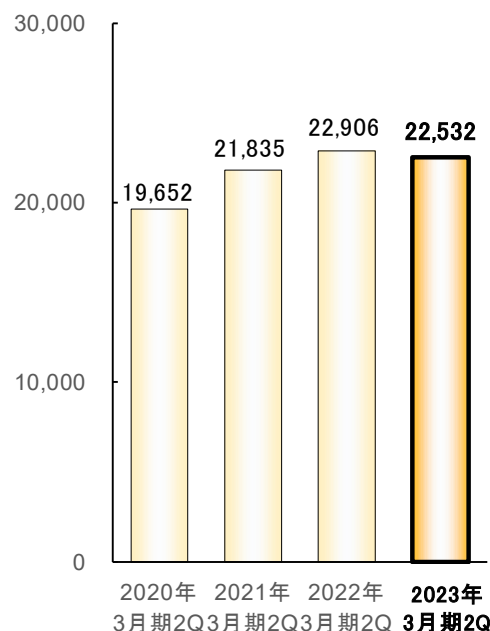
対前期比
▲13億円

営業利益

対前期比
+0.1億円

下期繰越高

対前期比
+ 55億円



■決算のポイント

- ・受注高は工事抑制の影響を受けるも、大型官公庁工事受注により前期並みを維持
- ・売上高は施工検討段階にある長期大型工事が多く前期より減少するも、一定水準を維持
- ・営業利益は売上高減少の影響を受けるも、効率的な施工により前期並みを維持
- ・下期繰越高は前期からの豊富な繰越工事を背景に高水準を維持

(単位:百万円)

受注高

対前期比
+5億円

売上高

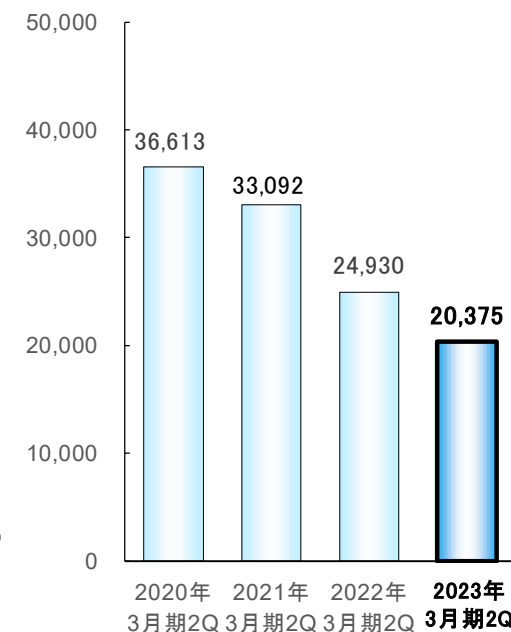
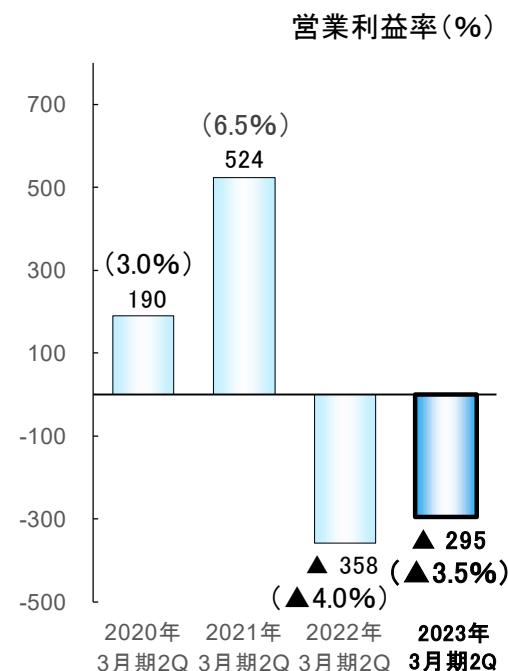
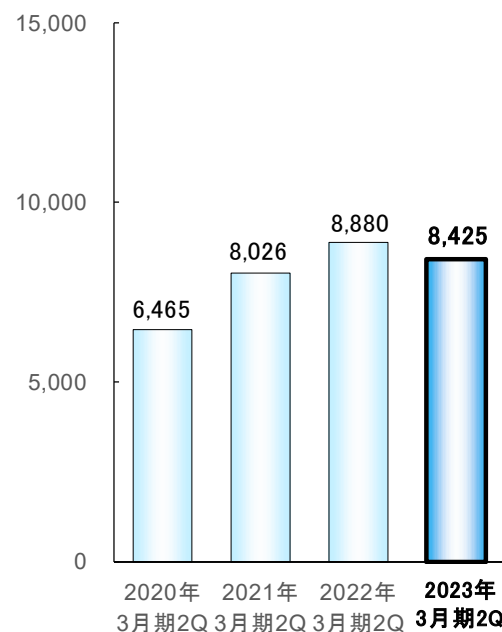
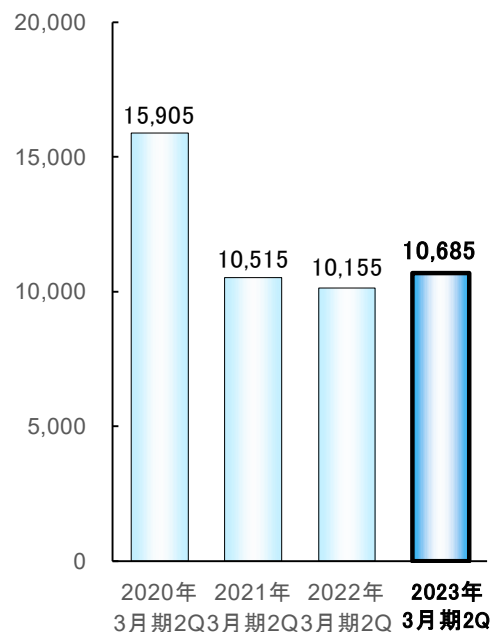
対前期比
▲5億円

営業利益

対前期比
+0.6億円

下期繰越高

対前期比
▲46億円



■決算のポイント

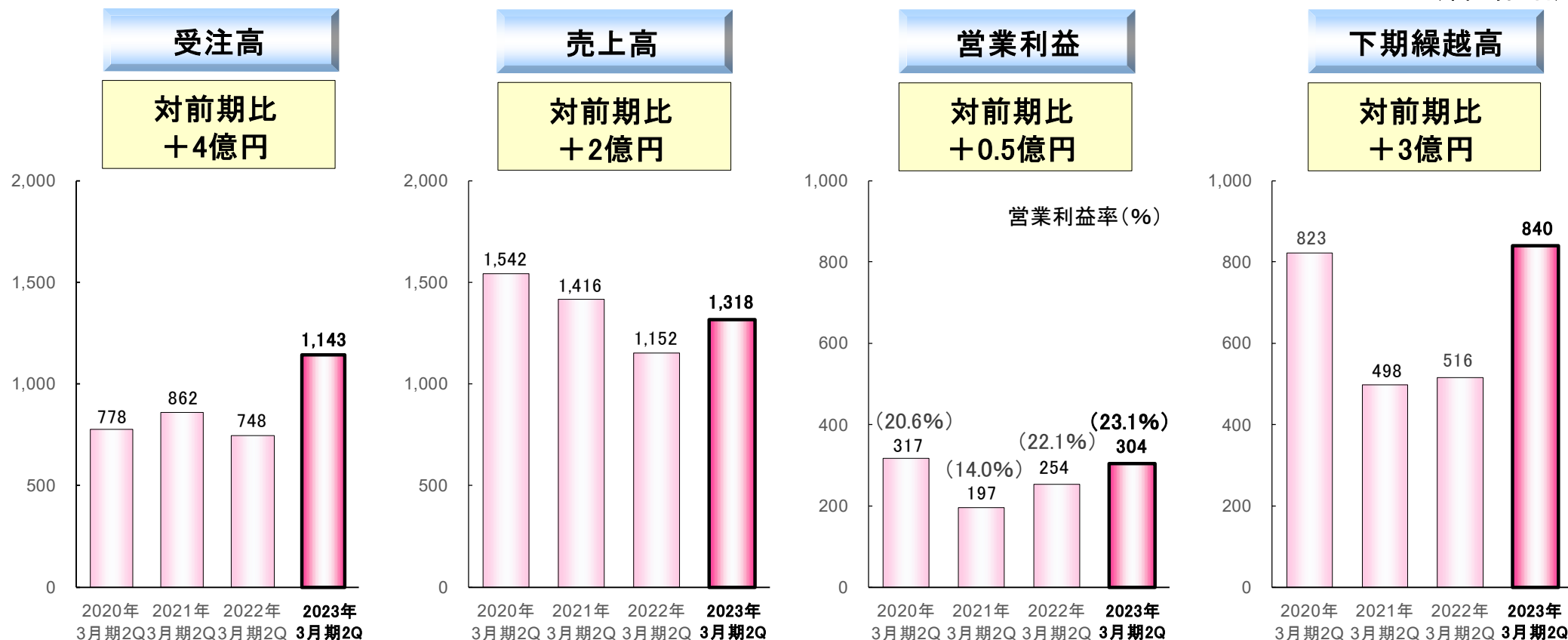
- ・受注高は鉄道通信工事の受注が増加
- ・売上高は北陸新幹線等の大型工事の進捗が寄与し高水準を維持
- ・営業利益は効率的な施工により前期比で改善
- ・下期繰越高は新幹線等大型工事の完成により減少するも、一定水準を維持

その他(関連事業等)の実績



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

(単位:百万円)



■決算のポイント

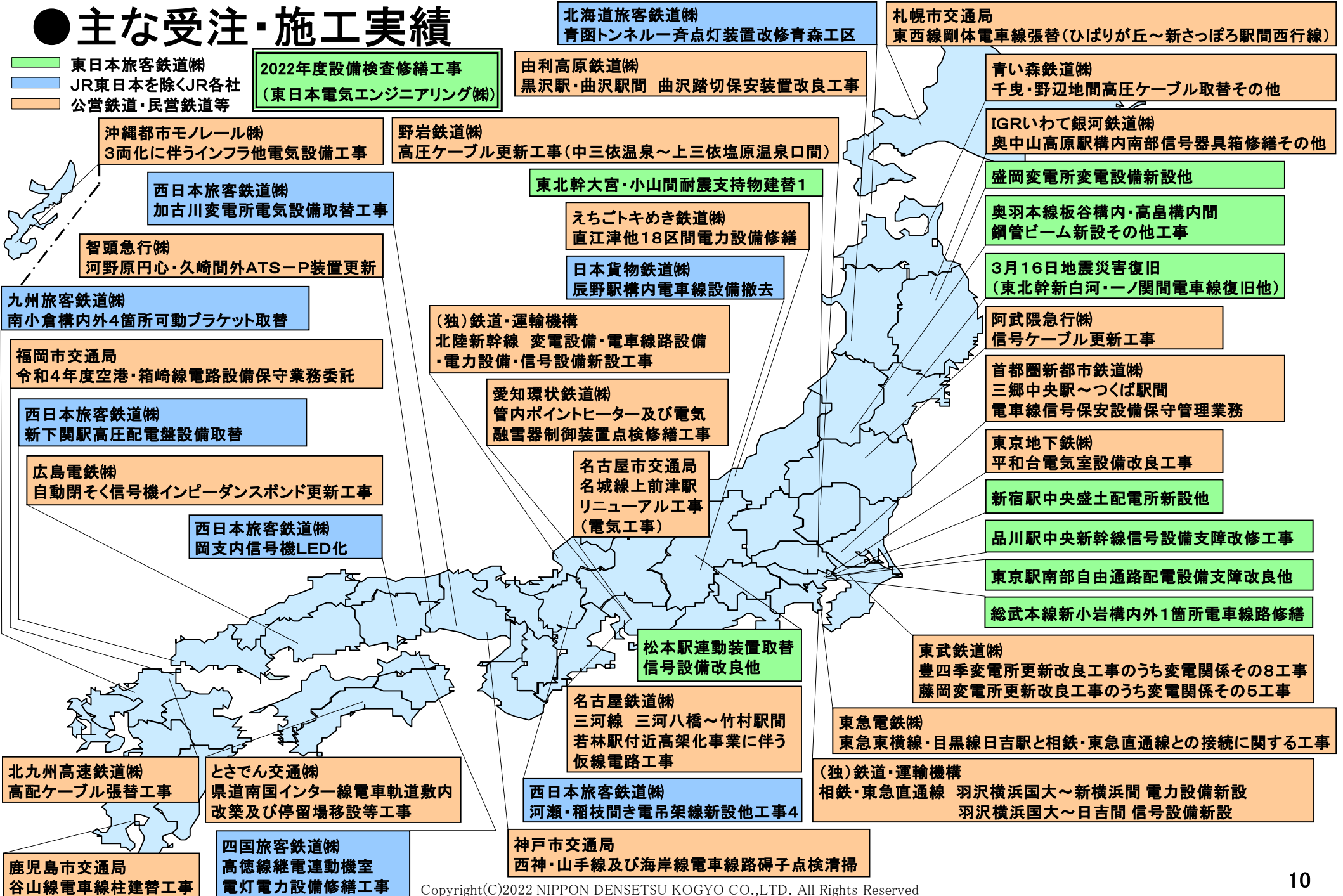
- ・売上高は新築した学生向けマンションの賃料収入増加やグループ会社のソフトウェア開発等により増加

注:「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない。

●主な受注・施工実績

- 東日本旅客鉄道(株)
- JR東日本を除くJR各社
- 公営鉄道・民営鉄道等

2022年度設備検査修繕工事
(東日本電気エンジニアリング(株))



●災害復旧工事

・2022年3月16日発生の福島県沖地震

東北新幹線の電車線路設備において電柱損傷などの甚大な被害が発生し、復旧工事を施工した。5月13日始発から通常ダイヤでの運転を再開。



復旧工事施工の様子

・2022年8月の大雨に伴う復旧工事 **NEW**

大雨により東北各地で鉄道設備が被災し、復旧工事を施工した。奥羽本線 鷹ノ巣駅・大館間は、10月7日より運転を再開。



復旧工事施工の様子

●鉄道電気設備の老朽化対策

鉄道電気設備の経年劣化に伴う、電力設備や信号設備の改修等を担当している。

既存設備の改修工事に加え、耐震化や長寿命化、メンテナンスの省力化を見据えた大規模改修、システム更新工事などの需要も高まってきており、プロジェクトへの参画を通じて鉄道の安全・安定輸送の確保に貢献していく。



電車線路改良



変電所機器取替



信号設備改良



送電線張替

●中央快速線等へのグリーン車サービス開始に向けて

サービス開始に向け、駅や信号設備等の改修が行われており、当社も信号改良工事を始めとして各種工事を施工している。



東日本旅客鉄道㈱プレス資料より



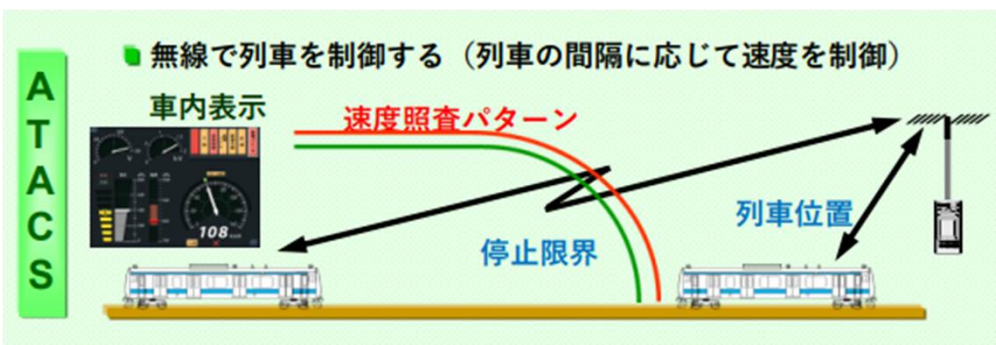
豊田車両センター武蔵小金井派出



御茶ノ水駅付近

●無線式列車制御システム(ATACS) NEW

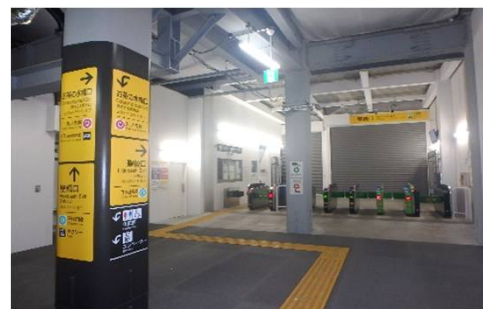
当社の施工により仙石線および埼京線に導入されたATACSは、走行する列車自らが在線する位置を検知し、無線を使って車上・地上間で双方向に情報通信を行うことにより列車を制御する全く新しいシステム。今後、JR東日本の施策に向けて営業活動を行っていく。



東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

●駅改良工事

混雑緩和やサービス機能強化を目的とした駅の大規模改良工事を行っており、当社は電源設備の改良や照明設備のLED化等を担当している。



御茶ノ水駅聖橋口(仮設)



新橋駅

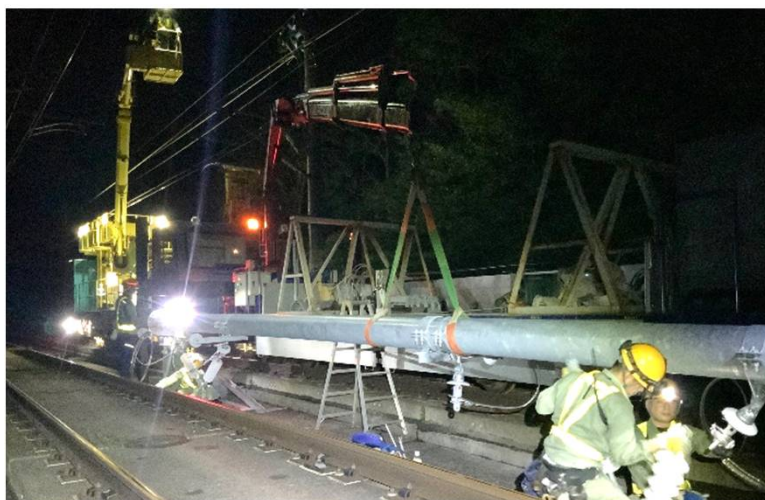
●JR東日本 新幹線高速化に向けた架線改良



●JR西日本 ハイパー架線事業



●JR東日本 東北新幹線 福島・くりこま高原間 電化柱耐震補強 **NEW**



●JR北海道 北海道新幹線延伸に伴う長万部駅・ 倶知安駅 支障移転工事 **NEW**



●公民鉄工事

受注拡大に向けて全国の公民鉄事業者から工事計画の情報収集等を行い、変電所設備更新(東京都交通局、横浜市交通局、東京地下鉄(株)、東急電鉄(株)、東武鉄道(株))をはじめ、各種工事を幅広く受注している。

2022年度は大阪市高速電気軌道(株)から旅客案内表示取替工事や名古屋市交通局から名城線上前津駅リニューアル工事等の大型工事を受注している。

受注・売上高実績

(単位:億円)

		2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
受注高	第2 四半期	50	64	93	56
	通 期	98	103	193	(計画) 110
売上高	第2 四半期	29	15	33	50
	通 期	95	100	119	(計画) 110

(整備新幹線工事を除く)



横浜市交通局 市営地下鉄片倉変電所機器更新工事 **NEW**



名古屋市交通局 名城線上前津駅リニューアル工事 **NEW**

●相鉄・東急直通線

(独)鉄道・運輸機構、東急電鉄(株)および相模鉄道(株)から発注された相鉄・東急直通線の電灯電力、信号、通信設備工事を受注している。



相模鉄道(株)プレス資料より



新横浜駅～日吉駅間の工事の様子



新横浜駅構内の工事の様子

2022年度 下期開業予定

●芳賀・宇都宮LRT

JR宇都宮駅東側から芳賀・高根沢工業団地まで整備しており、当社は変電所設備の新築工事を施工した。

2019年度以降は電車線路工事を受注しており、2022年度も宇都宮市から継続して受注している。



優先整備区間停留所

宇都宮市ホームページより

※LRTは、ライト・レール・トランジットの略で交通渋滞の緩和、環境や高齢化問題などの解消を図るために導入が進められている新しい都市交通システムです。



グリーンスタジアム前停車場



LRT導入イメージ

2023年8月 全面開業予定

宇都宮市ホームページより

●東京都交通局

都営大江戸線光が丘変電所変電設備更新工事

NEW



●京成電鉄

押上線(四ツ木駅～青砥駅)連続立体交差事業



●沖縄都市モノレール

3両化に伴うインフラ外電気設備工事

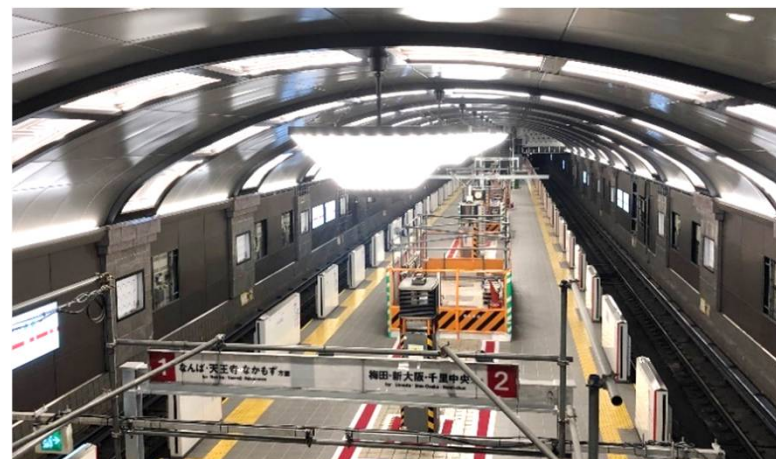


沖縄都市モノレール株式会社ホームページより

●大阪市高速電気軌道

1・7号線心斎橋駅

駅施設改造に伴うサードレール工事 NEW



鉄道電気工事の概況(整備新幹線)



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

●整備新幹線延伸計画

西九州新幹線の電車線路、電力、通信設備の工事が完成した(9月23日開業)。

また、北陸新幹線(金沢・敦賀間)の変電、電車線路、電力、信号、通信設備の工事を受注している。

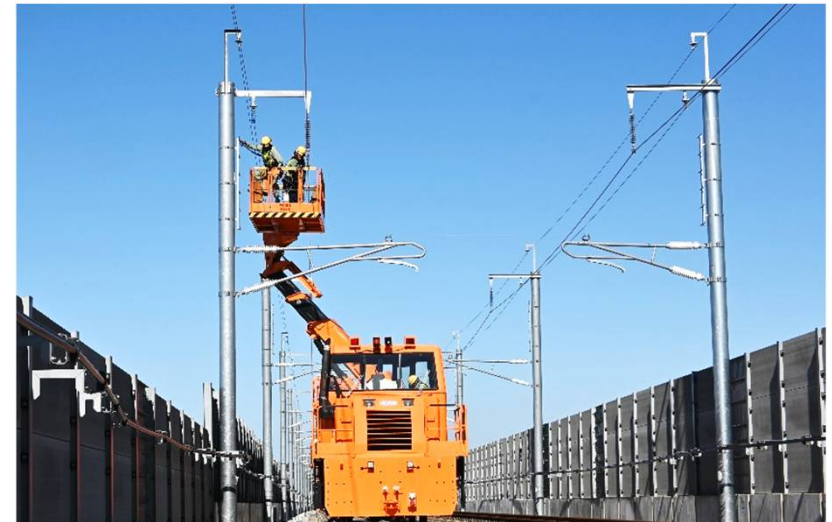
受注・売上高実績

(単位:億円)

		2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
受注高	第2 四半期	13	31	0.3	2
	通 期	72	34	19	(計画) 2
売上高	第2 四半期	0.2	7	19	11
	通 期	2	32	43	(計画) 39

・西九州新幹線 2022年9月23日 開業

・北陸新幹線(金沢・敦賀間) 2024年度 開業予定



北陸新幹線(金沢・敦賀間)施工中の様子



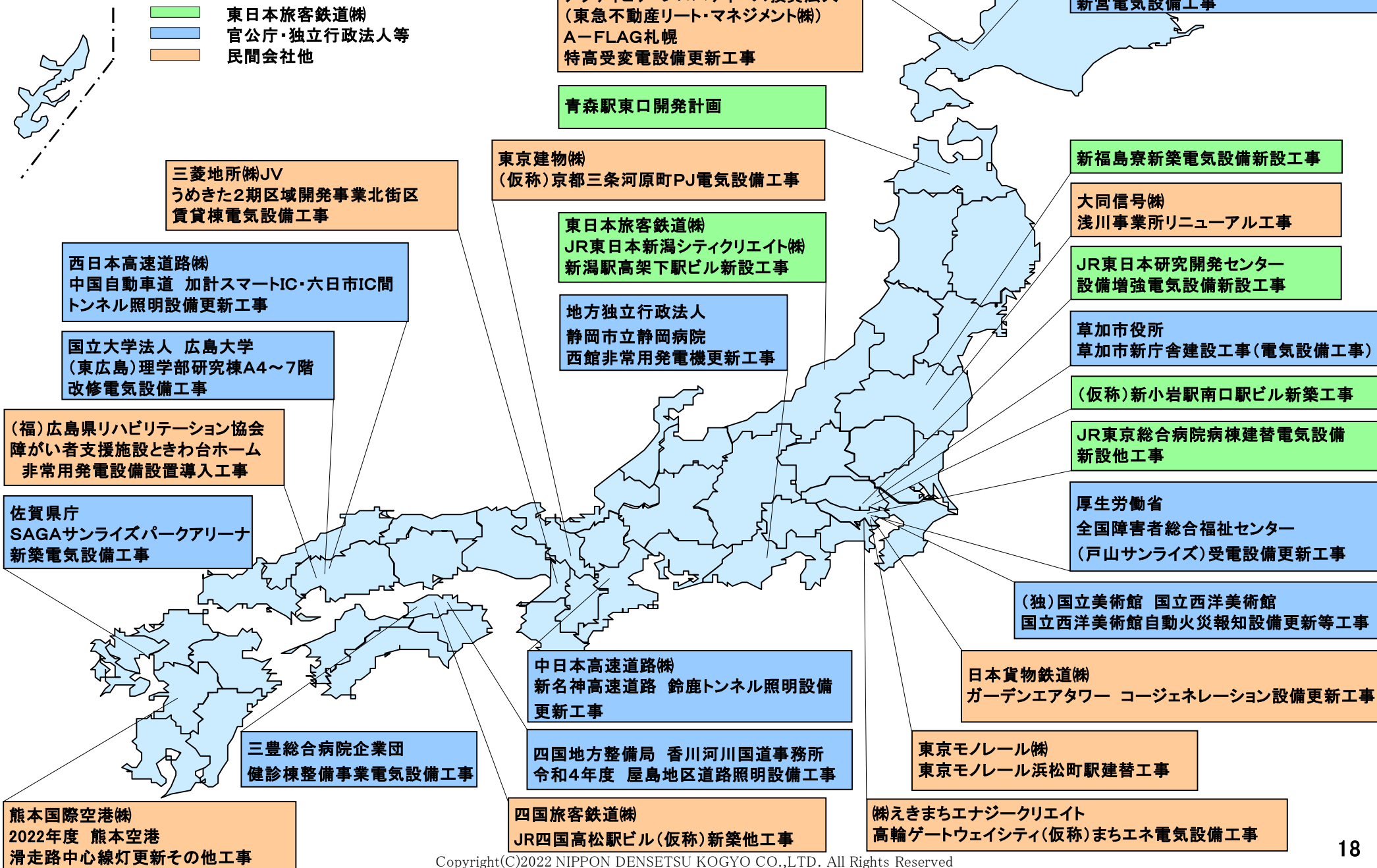
北陸新幹線(芦原温泉駅)

一般電気工事の概況



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

●主な受注・施工実績



●主なプロジェクト工事

青森駅東口開発計画 **NEW**



2024年度 完成予定

東日本旅客鉄道㈱ホームページより

(仮称)新小岩駅南口駅ビル新築工事



2023年12月 完成予定

東日本旅客鉄道㈱ホームページより

高輪ゲートウェイシティ(仮称) まちエネ電気設備工事



複合棟 I

2024年度末 完成予定

複合棟 II・文化創造棟・住宅棟 2025年度中 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

新潟駅高架下駅ビル新設工事



2024年春頃 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

●主なプロジェクト工事

国立西洋美術館 自動火災報知設備更新等工事



NEW

2023年3月 完成予定

画像提供: ©国立西洋美術館

三豊総合病院 企業団健診棟整備事業電気設備工事



2023年4月 完成予定

三豊総合病院ホームページより

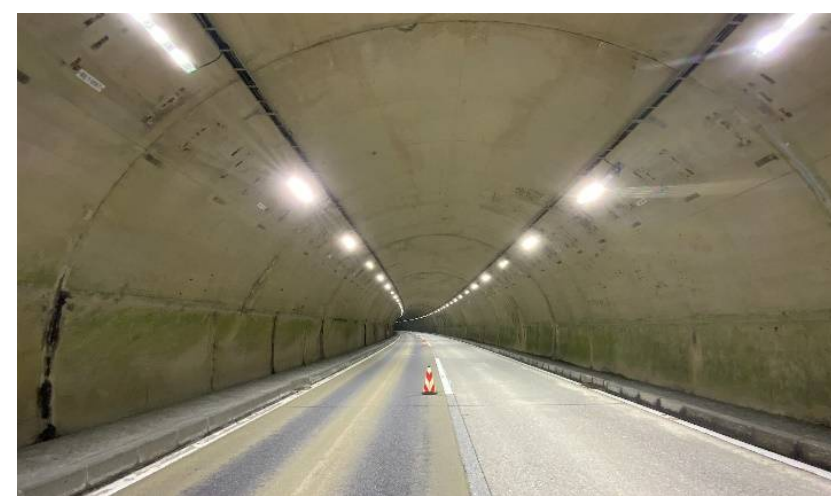
2022年度 熊本空港 滑走路中心線灯更新その他工事 NEW



2023年3月 完成予定

画像提供: 熊本国際空港㈱

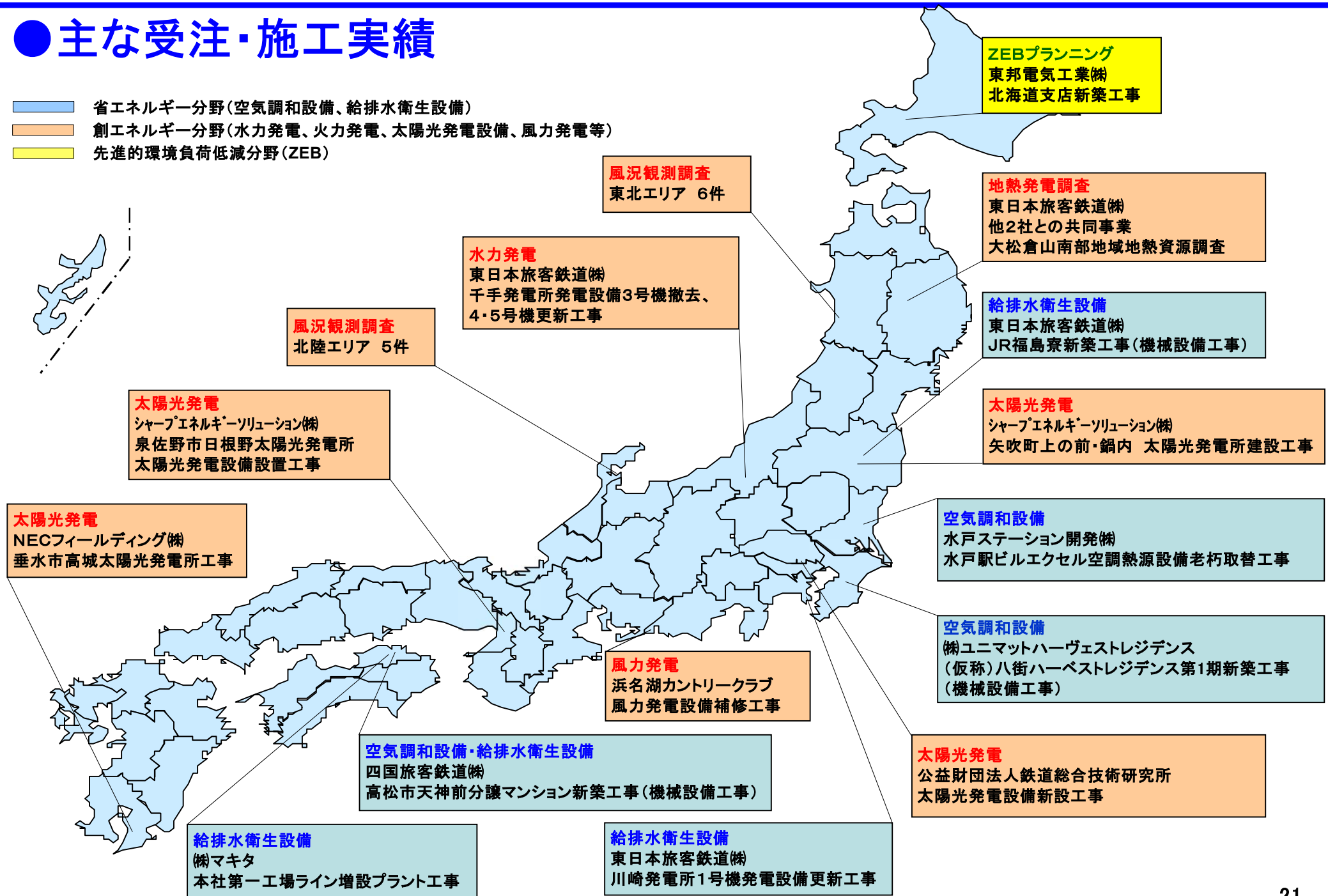
中国自動車道 加計スマートIC・六日市IC間 トンネル照明設備更新工事 NEW



2022年9月 完成

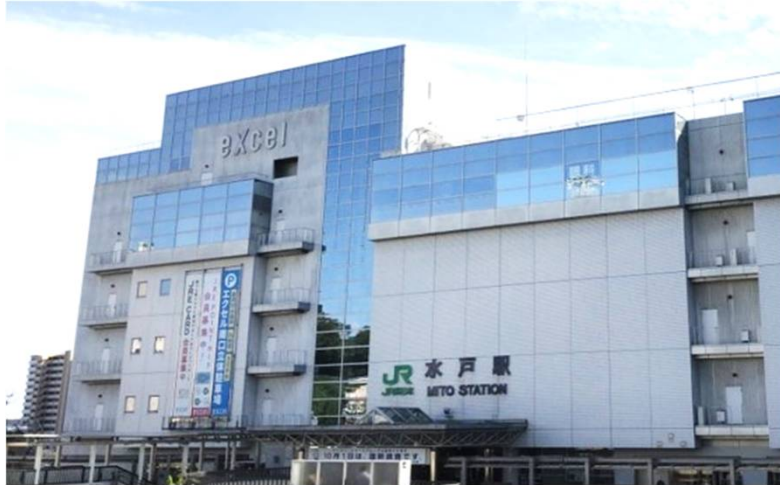
●主な受注・施工実績

- 省エネルギー分野(空調設備、給排水衛生設備)
- 創エネルギー分野(水力発電、火力発電、太陽光発電設備、風力発電等)
- 先進的環境負荷低減分野(ZEB)



省エネルギー分野

水戸駅ビルエクセル空調熱源設備老朽取替工事



2022年6月 完成

省エネルギー分野

川崎発電所1号機発電設備更新工事



2027年1月 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

省エネルギー分野

高松市天神前分譲マンション新築工事



2023年6月 完成予定

四国旅客鉄道㈱ホームページより

創エネルギー分野

千手発電所発電設備3号機撤去、4・5号機更新工事



2027年2月 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道㈱

●ZEB化事業の推進

- ◇ZEBプランナー登録 (2018年2月)
- ◇ZEBリーディング・オーナー登録 (2020年1月)
- ◇環境エネルギー本部を発足 (2020年9月)
一般電気工事分野、環境設備分野および創エネルギー分野において、ZEB等で培った総合技術を活かすなど営業の裾野を広げ、さらなる受注拡大を図る。

- ◇ZEBプランニングの実績
東邦電気工業(株)北海道支店新築工事

- ◇ZEB対応の実績
道後温泉 ホテル古湧園 遥 (ZEB Ready)
2022年6月 ホテル古湧園 遥は、第七回愛媛ふるさと環境大賞を受賞

- ◇ZEBへの取組み発信
2022年度省エネ大賞 応募
千葉県事業者向け省エネ・温暖化対策セミナー 参加
千葉市ZEBセミナー 参加
一般社団法人建築設備技術者協会
会誌『建築設備士』2022年9月号 寄稿

- ◇ZEB対応の自社ビル

NDK千葉ビル	(Nearly ZEB)
TEMS小牛田SC	(Nearly ZEB)
NDK新潟ビル	(Nearly ZEB)
TEMS新青森事務所	(ZEB Ready)
NDK秋田ビル	(ZEB Ready)
NDK仙台東ビル	(ZEB)

●BELS申請の推進

- ◇BELS最高評価(星5つ)の取得 2棟



※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、
またはマイナスの建築物
Nearly ZEB: 75%以上省エネの建築物
ZEB Ready: 50%以上省エネの建築物

※BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)
省エネルギー性能に特化した評価・表示制度
であり、建築物の一次エネルギー消費量に
基づき評価機関が5段階で評価する。



道後温泉 ホテル古湧園 遥
新築ZEB化事業工事(2019年10月完成)



NDK千葉ビル(2019年11月完成)



TEMS小牛田SC(2020年3月完成 施工のみ)



NDK新潟ビル(2021年2月完成)



TEMS新青森事務所(2021年3月完成)

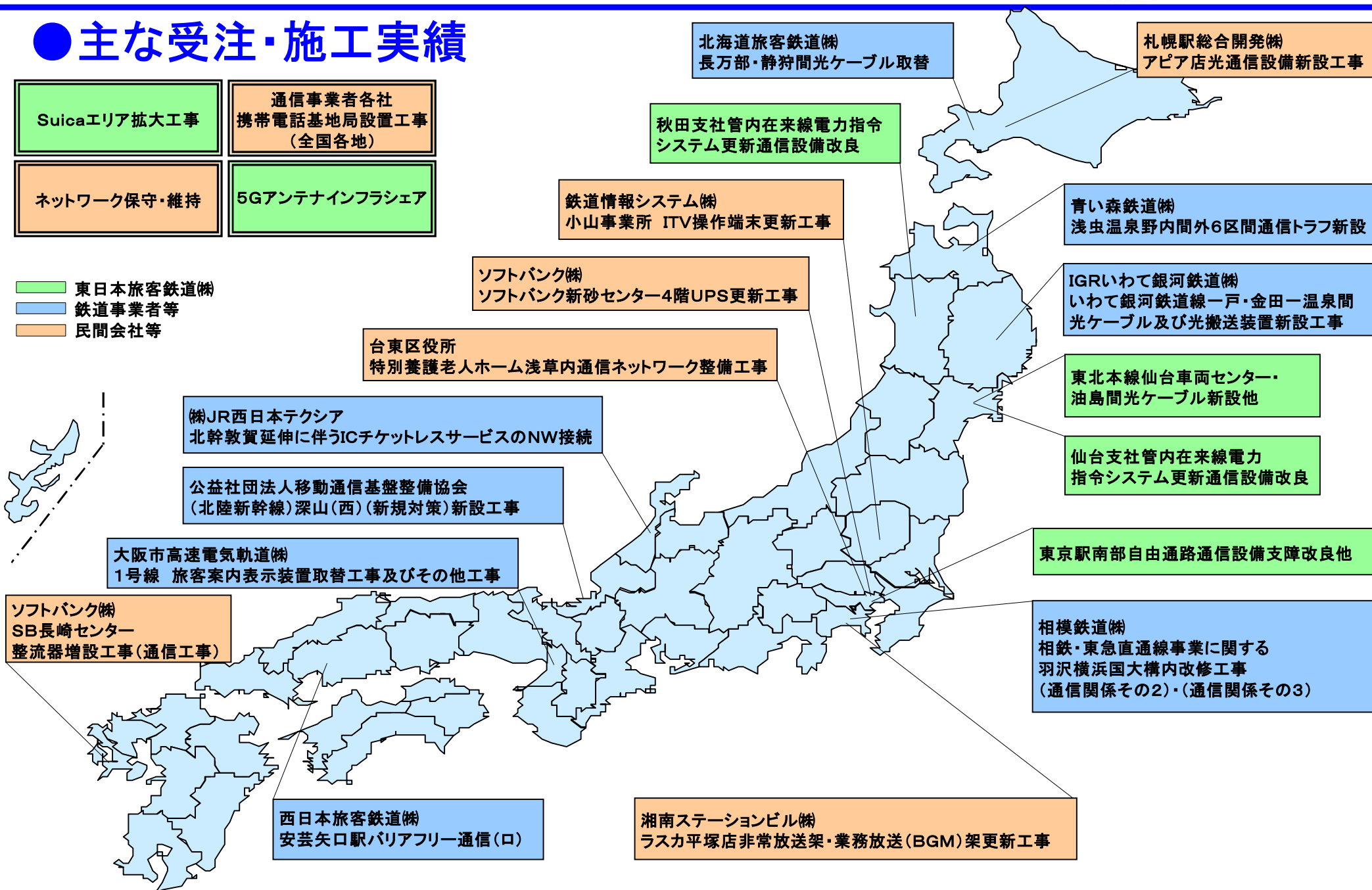


NDK秋田ビル(2021年4月完成)



NDK仙台東ビル(2021年11月完成)

●主な受注・施工実績



●携帯電話各社の基地局工事



携帯電話各社の5G基地局工事などを継続的に施工している。

今後も全国での施工実績を活かし、各社の5G基地局工事および5G屋内対策工事等関連工事の継続的受注に向けて営業活動を行っていく。

●楽天モバイル関連工事



楽天モバイルの基地局設置工事・回線集約局工事を施工している。

今後も全国での施工実績を活かし、基地局等の受注に向けて営業活動を行っていく。



●5Gアンテナインフラシェア

JR東日本の新事業となる5Gアンテナインフラシェアは、JR東日本グループ資産を最大限に活用し展開する予定としている。

2021年度までに計16駅を施工し、2022年度以降も首都圏駅を中心に施工を進める予定である。



5Gアンテナ

●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で24棟・674戸の賃貸マンションを運営
(入居率98%)



ロータス我孫子(千葉県我孫子市)
2023年4月完成予定

- ・社員寮の跡地に賃貸マンションを建設中(千葉県我孫子市)
- ・収益性の高い不動産事業への投資を検討

●新規事業

保有不動産を活用した新たな事業開発

- ・学生専用賃貸マンション事業の拡大
- ロータス黒砂台:独身寮をリノベーション
- ロータス西千葉:社屋跡地に建設

販売事業の収益力強化

- ・開発成果品販売サイトの充実による販売拡大を推進
- ・共同購買システム
- ・損害保険のWEB契約導入
- ・電子書籍サービス「NDKライブラリ」の運用を開始

●建築設備・ビルサービス事業の拡大

建設設備工事、ビル管理業務を受託
(NDK総合サービス株)



NDK第一池之端ビル(東京都台東区)



NDK静岡ビル(静岡県静岡市)



FMTEC受電設備点検業務



新陽社芝園ビル駐車場設備工事

賃貸不動産売上高	2022年3月期	2023年3月期
第2四半期	549百万円	558百万円
通期	1,104百万円	1,240百万円(計画)

IV. 2023年3月期業績予想



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

■業績予想のポイント

- ・不採算工事を回避した選別受注により受注高は対前期比で減少となるも、豊富な手持工事の効率的な施工および工事採算性の改善により増益を目指す
- ・次期繰越高は減少となるも高水準を維持

(())は売上高比率、単位:百万円)

	2022年3月期実績	2023年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	144,252	144,574	322	0.2%
受注高	172,335	166,850	▲5,485	▲3.2%
売上高	173,569	175,200	1,630	0.9%
売上総利益	21,664 (12.5%)	23,380 (13.3%)	1,715	7.9%
販売費及び一般管理費	14,209 (8.2%)	13,940 (8.0%)	▲269	▲1.9%
営業利益	7,454 (4.3%)	9,440 (5.4%)	1,985	26.6%
営業外損益	1,248 (0.7%)	1,070 (0.6%)	▲178	▲14.3%
経常利益	8,703 (5.0%)	10,510 (6.0%)	1,806	20.8%
特別損益	▲386 (▲0.2%)	— (—%)	386	—%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,222 (3.0%)	6,870 (3.9%)	1,647	31.5%
次期繰越高	144,574	138,031	▲6,542	▲4.5%

2023年3月期業績予想



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+3億円

受注高

対前期比
▲55億円

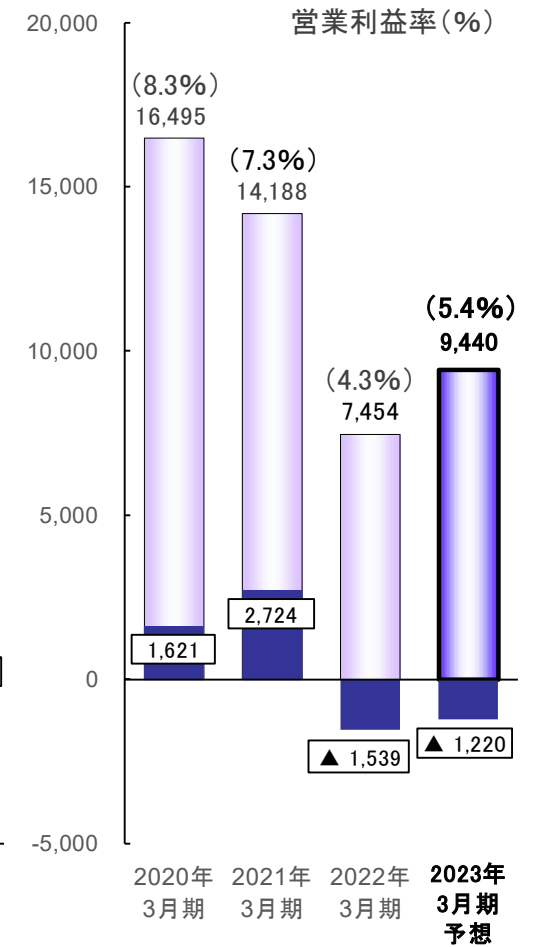
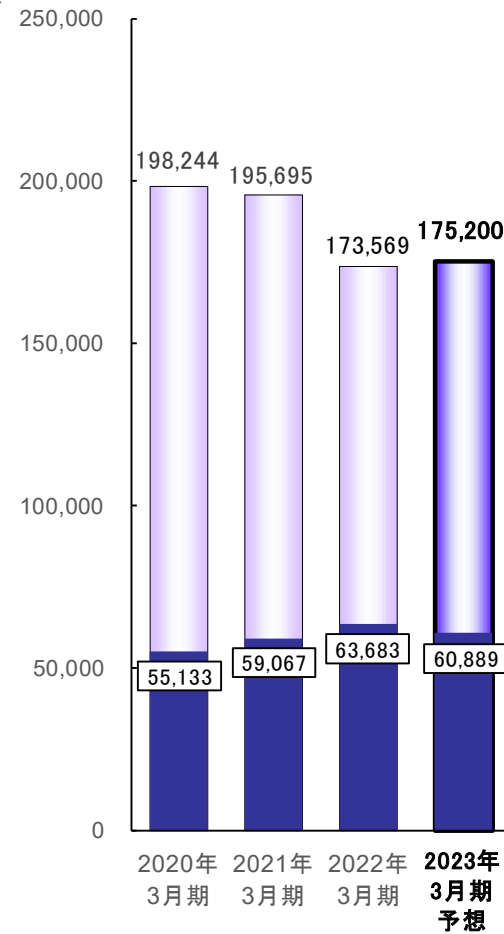
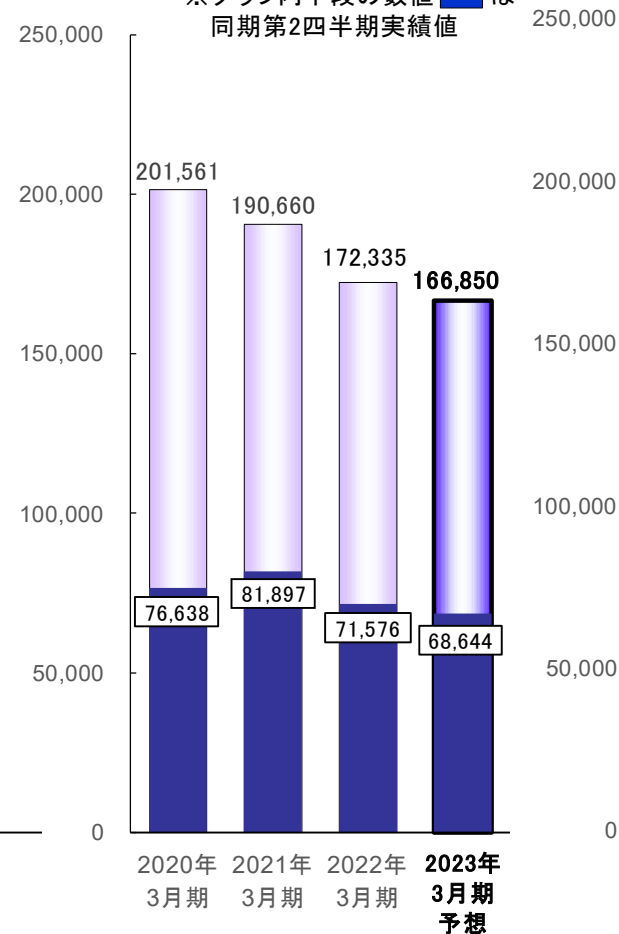
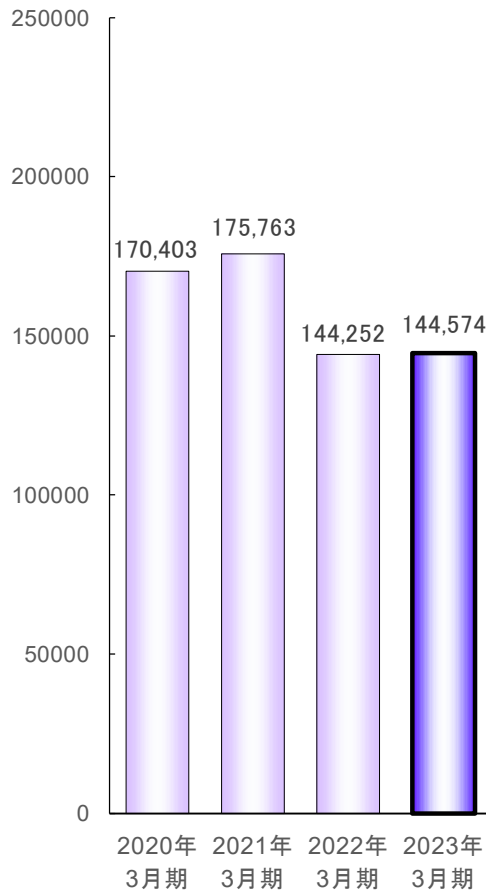
売上高

対前期比
+16億円

営業利益

対前期比
+20億円

※グラフ内下段の数値 ■ は
同期第2四半期実績値



効率的な施工と工事採算性の改善を目指す

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+13億円

受注高

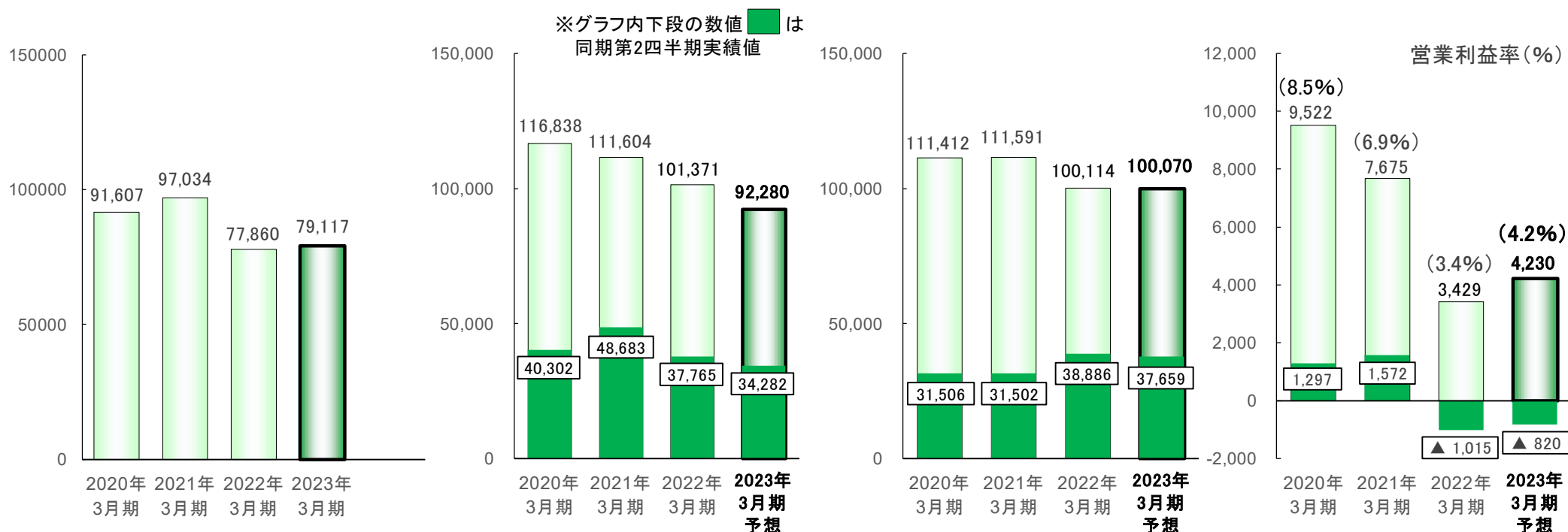
対前期比
▲91億円

売上高

対前期比
▲0億円

営業利益

対前期比
+8億円



■業績予想のポイント

- ・各鉄道事業者の工事抑制等の影響により受注高の減少を見込む
- ・豊富な手持工事の効率的な施工により売上高を確保し、工事採算性の改善により利益の増加を目指す

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+46億円

受注高

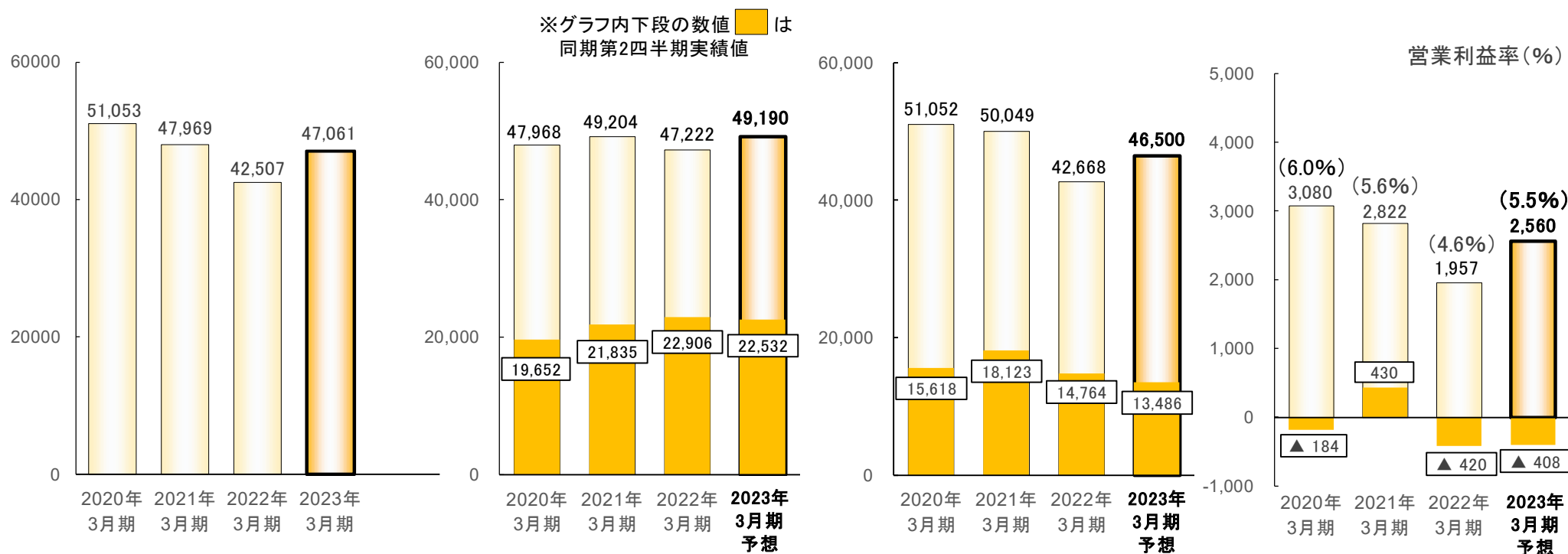
対前期比
+20億円

売上高

対前期比
+38億円

営業利益

対前期比
+6億円



業績予想のポイント

- ・選別受注により不採算工事を回避しつつ成長投資案件等への積極的な営業展開により高水準の受注高を維持
- ・豊富な手持工事の効率的な施工と工事採算性の改善により売上高および利益の増加を目指す

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
▲55億円

受注高

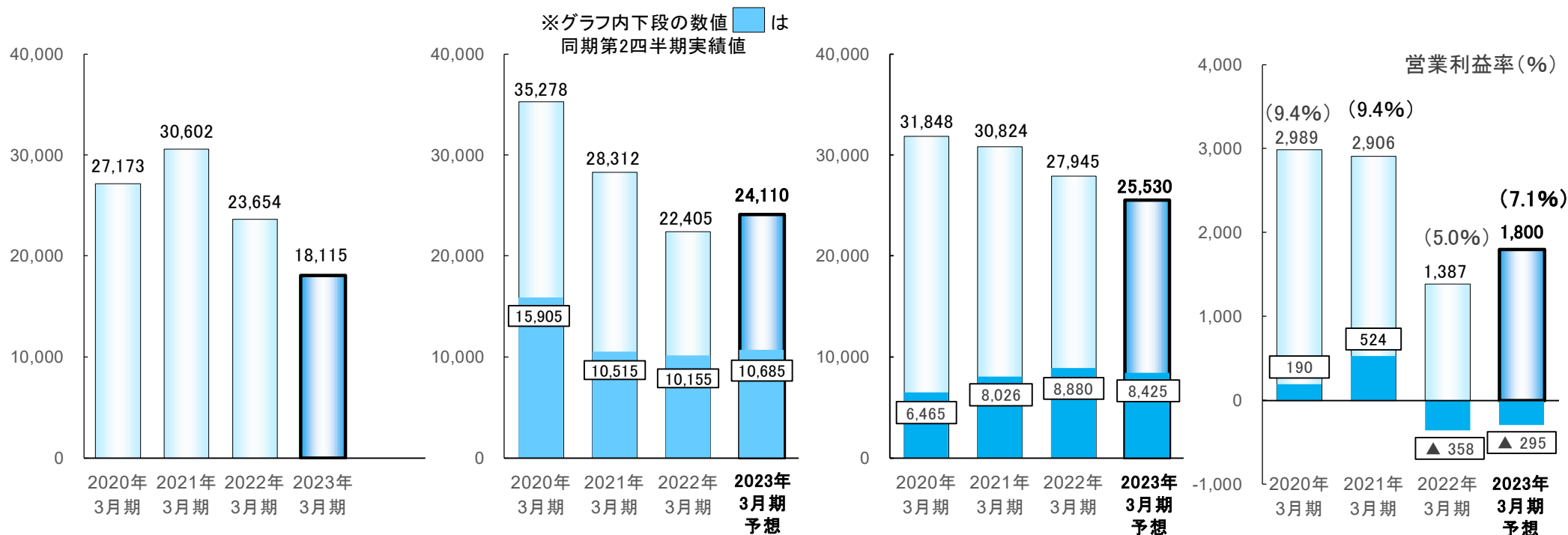
対前期比
+17億円

売上高

対前期比
▲24億円

営業利益

対前期比
+ 4億円



■業績予想のポイント

- ・ネットワーク関連工事への積極的な営業展開により受注高を伸ばす
- ・効率的な施工と工事採算性の改善により売上高の確保と利益の増加を目指す

その他(関連事業等)の予想

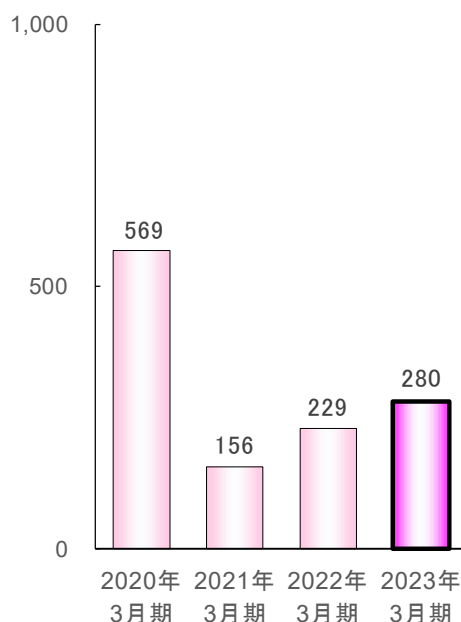


2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

(単位:百万円)

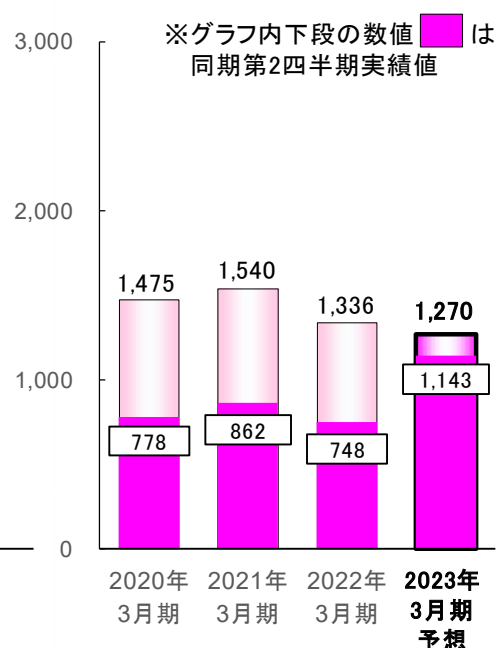
期首繰越高

対前期比
+0.5億円



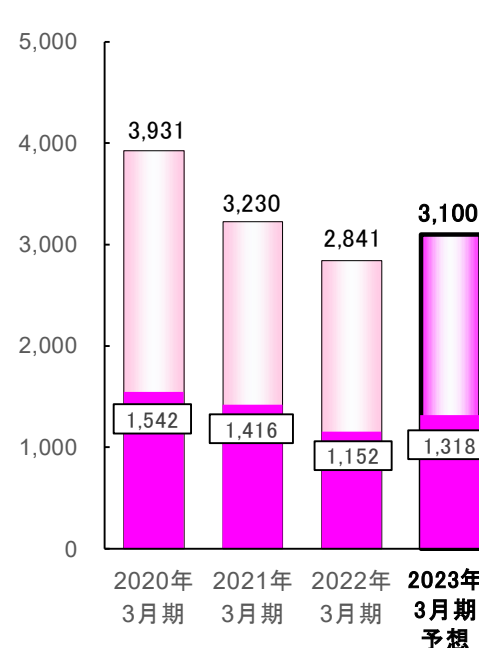
受注高

対前期比
▲0.7億円



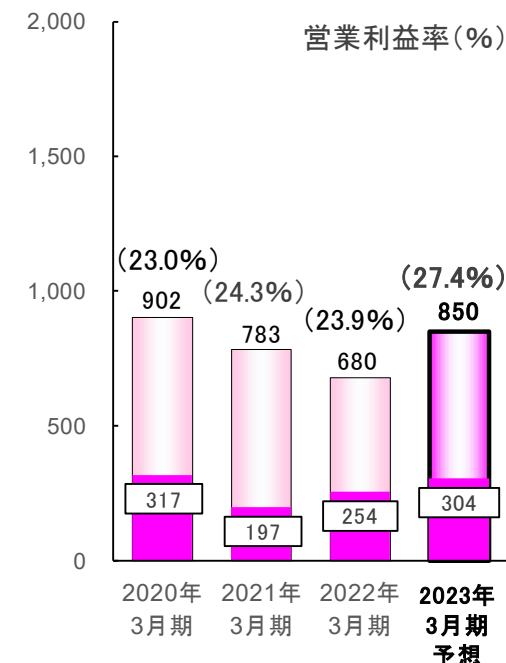
売上高

対前期比
+3億円



営業利益

対前期比
+2億円



■業績予想のポイント

- ・賃貸ビルの入居率向上および建築設備・ビルサービス事業の拡大により売上高の増加を目指す

注:「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない。

◇ 数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期	2024年3月期
	予想	実績	予想	計画
期首繰越高	144,252	144,252	144,574	138,031
受注高	166,400	172,335	166,850	180,000
売上高	166,200	173,569	175,200	189,900
営業利益	5,900	7,454	9,440	12,400
経常利益	7,000	8,703	10,510	13,600
営業利益率	3.5%	4.3%	5.4%	6.5%
経常利益率	4.2%	5.0%	6.0%	7.2%

※2022年4月28日に公表した業績予想は、公表時点で入手している情報により作成したものです。今後の受注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

※当社では、中期経営計画以外に単年度の経営計画を策定しており、2023年3月期の予想については、2022年3月期の業績等を考慮し策定しました。
表中、「計画」は中期経営計画を、「予想」は単年度の経営計画を指します。

ニューノーマルに挑む 変革

「安全・品質とコンプライアンス」

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、
コンプライアンスの徹底によりお客さまからの信頼をより高めます。

「人と組織の連携で新たな価値創造」

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めた
NDKのチーム力を高め、新たな価値を創造します。

「環境経営の推進」

社員一人ひとりの日々の行動、事業活動を通じて脱炭素社会
の実現に向けた取り組みを推進します。

「自ら考え行動する社員の育成」

社員一人ひとりが気づき力を磨き、
自立的に業務に取り組める人材の育成に注力します。

「働きがいを実感できる職場づくり」

社員一人ひとりが心身ともに健康で働きやすさと働きがいを
実感できる職場づくりを目指します。

安全は会社経営上の最重要課題

◇安全推進の基本方針

- ・安全文化の構築
- ・安全かつ着実な施工管理の実施
- ・安全マネジメントの推進
- ・安全レベルの向上

安全の原点への立ち返り

安全文化の創造

私たちは
命を大切にします

私たちは
技術を磨きます

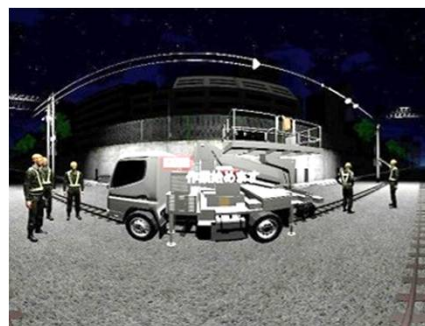
私たちは
健康で明るい**職場**
明るい**家庭**を築きます

安全文化の創造は「人命の尊さ」「人を大切にする心」を
全ての発想の根源として行動する社風を創っていく取り組みです。

安全推進ポスター



電気・危険体感実習室
(NDK安全文化創造館)



VRによる安全教育

技術力・技能の向上、施工体制強化

- ◇社員・協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員育成と資格取得支援
- ◇技術力の底上げと弱点補強強化
- ◇ICTを活用したオンライン教育



中央学園(千葉県柏市)



電車線実習
(軌陸車を150台保有)



資格取得教育

主な取り組み施策(働き方改革)



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

◇生産性向上の取り組み

- ・タブレット端末の活用(図面共有・テレビ会議等)
- ・クラウド共有ファイルサーバの導入
- ・RPAをはじめとしたICT等の先進技術の活用
- ・技術開発による施工の効率化(※1)
- ・作業効率に優れる資材の採用(※2)

◇仕事と育児がより両立できる環境の整備 **NEW**

- ・育児短時間勤務の適用期間の延長(小学校6年生を修了するまで)
- ・積立年次有給休暇の取得要件に「育児目的」を追加
- ・男性社員も育休等が取得しやすい職場づくりのため育休等に関する講習会の実施

◇長時間労働是正・人事諸制度改革

- ・時間外労働の上限規制順守を2022年度に実現を目指す
- ・多様な働き方の実現に向けた制度改革

◇健康経営の推進

- ・生活習慣病予防対策・メンタルヘルス対策の推進
- ・インターバル勤務の推進

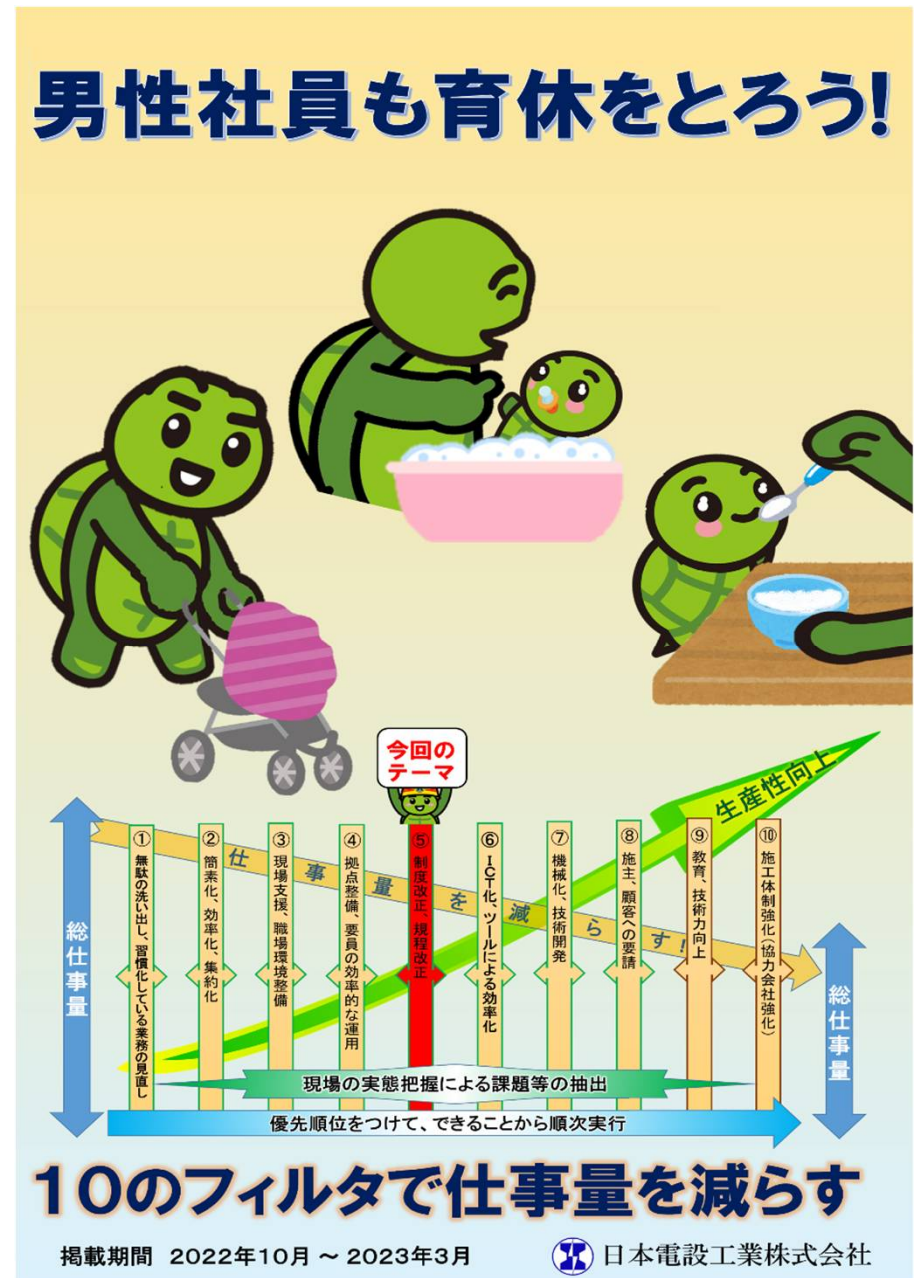


(※1) 架空送電工事用ロボットの開発

SAGAアリーナ新築電気設備工事(佐賀県)
【2023年春オープン予定】



(※2) 高機能型低圧アルミ導体CVケーブルの採用



生産性向上に向けた「10のフィルタ」による推進

最近の成果

【インテグレート架線化における新工法の開発】

工期の大幅短縮を目的に、電線の切替方法変更による新工法を開発
※従来の工法に比べ約30%の工期短縮



【データセンター向けセーフティ交流分電盤の開発】

安全性の向上を目的に、メーカーと共同で無停電で改修できる構造の分電盤を開発し、製品化
※充電部が露出しない分電盤



現在のテーマ

【剛体電車線用摩耗測定装置の開発】

摩耗測定時間の短縮を目的に、摩耗状態を連続的に測定できる装置を開発中
※従来は定点の手測定により実施



【機力を用いた簡易な電柱基礎工法の開発】

電柱建植の作業時間短縮を目的に、新しい材料や基礎工事の機力化による新工法を開発中



主な取り組み施策(環境等)

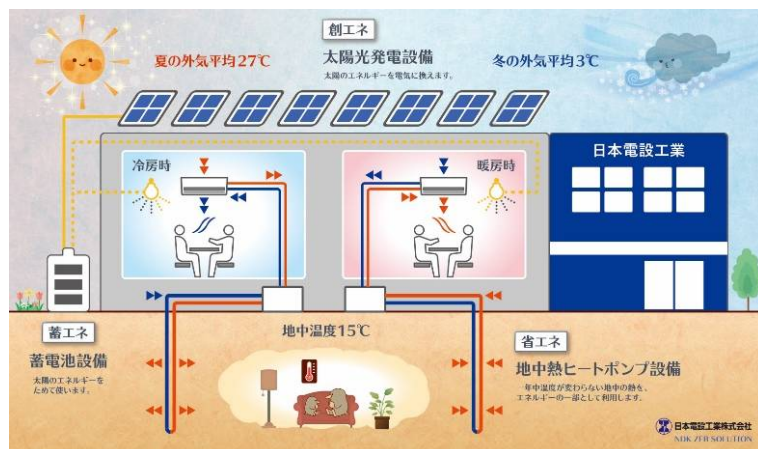


2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

環境問題に配慮した建築物

◇ZEB対応の自社ビル 6棟施工

NDK仙台東ビルは、地中熱を利用した空調や太陽光発電と蓄電池などの導入により、当社では初めて100%ZEBとして認証



地中熱の利用(NDK仙台東ビル)

◇ZEBプランニング 1棟受注

東邦電気工業(株)北海道支店新築工事のZEBコンサルティング・設計業務サービスを受注

◇BELS最高評価(星5つ) 2棟施工



仙建工業(株)福島支店

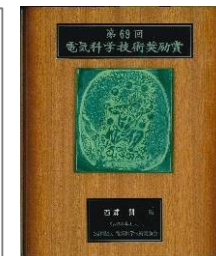


大栄電設工業(株)本社

社員の創意工夫への外部評価

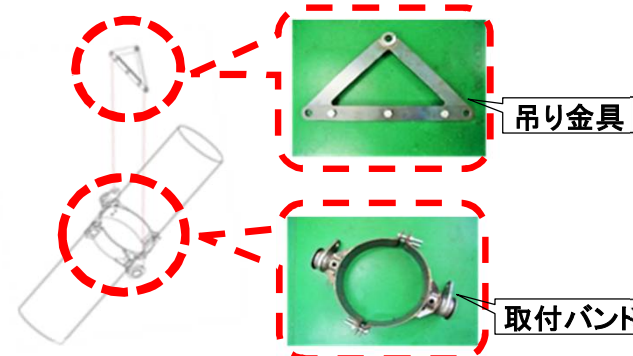
◇令和3年度 第69回電気科学技術奨励賞受賞

電気・危険体感実習室(NDK安全文化創造館)

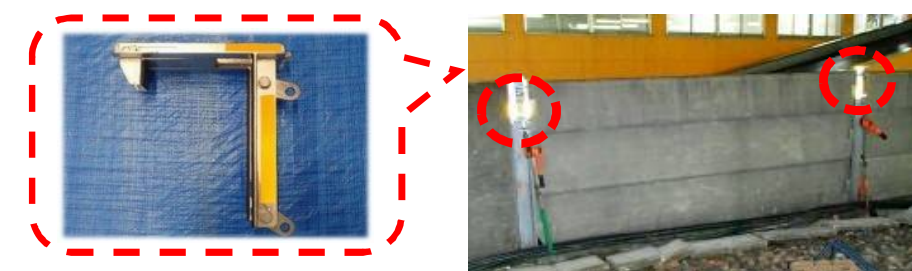


◇科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞 (創意工夫功労者賞)

・令和3年度 電柱建植用金具



・令和2年度 高架上ケーブル吊り金具

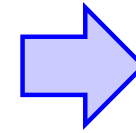


日本電設3ヶ年経営計画2021

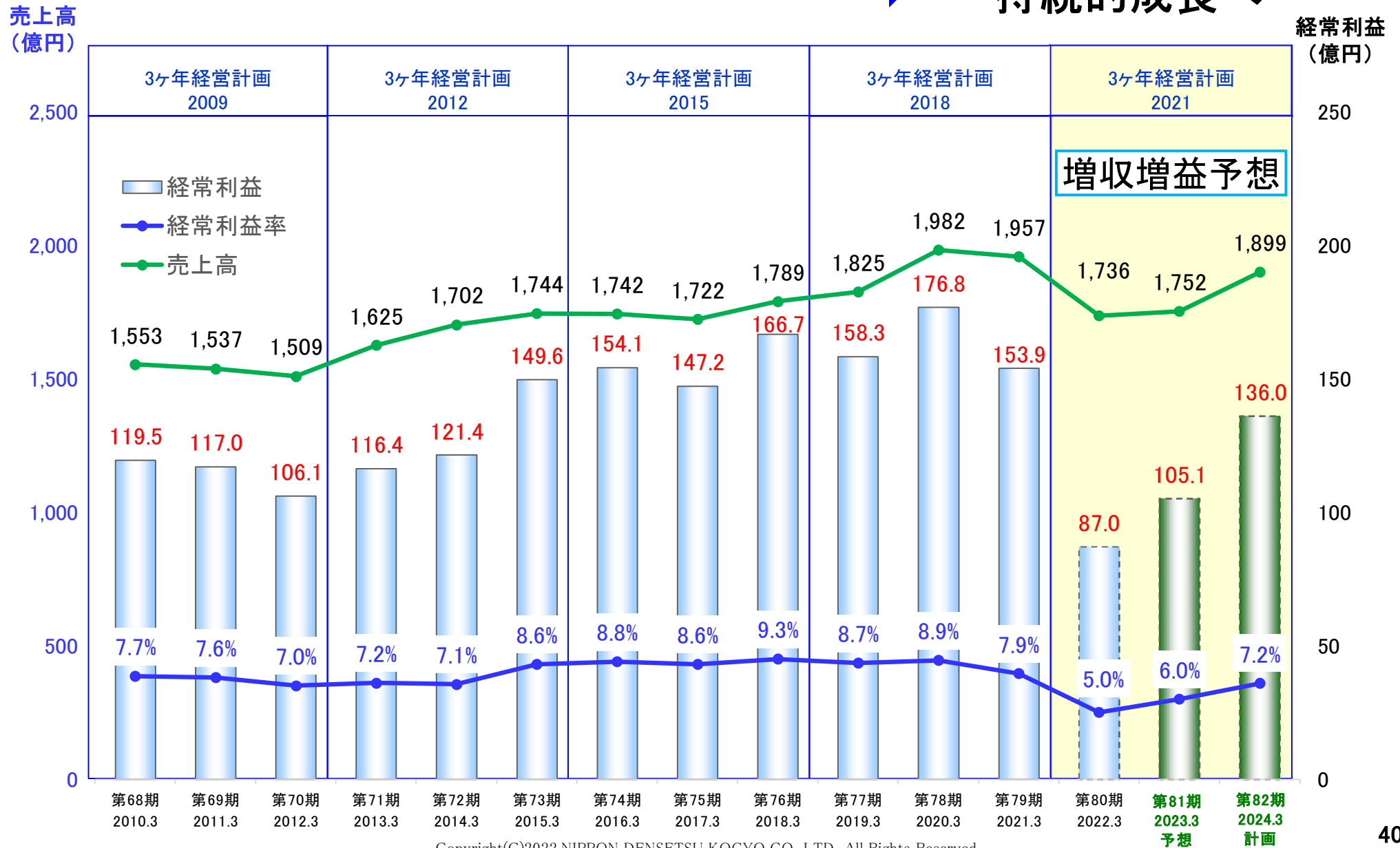


2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

2024年3月期に向かってV字回復



利益を確保し
持続的成長へ



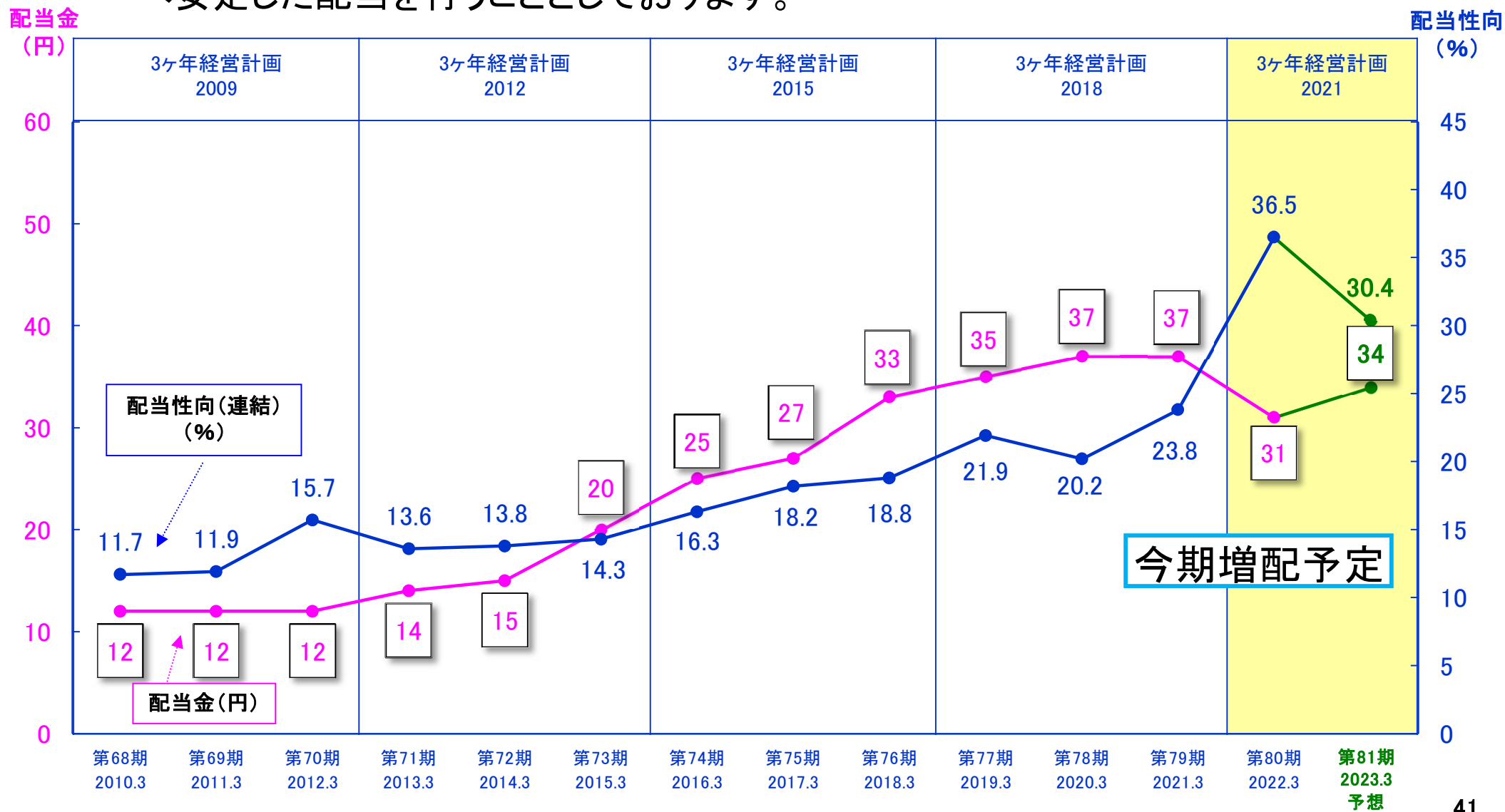
VI. 配当の推移



2023年3月期 第2四半期
日本電設工業グループ

●利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体質強化のための内部留保や配当性向にも配慮しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うこととしております。





本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <https://www.densetsuko.co.jp/>